

2025年5月7日
 サンデン株式会社

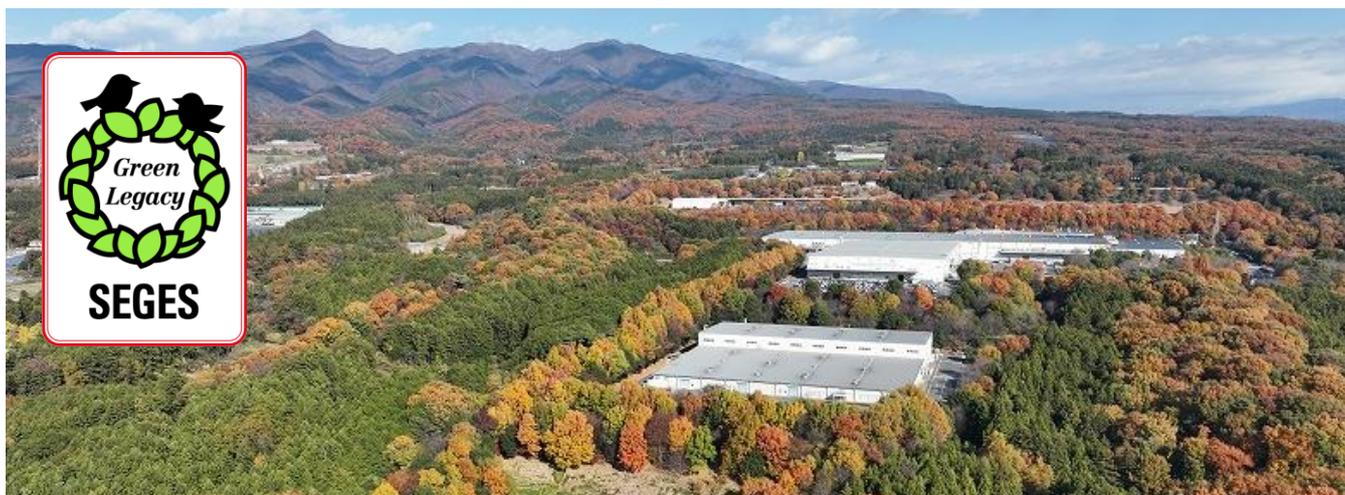
サンデンフォレストが緑の認定制度 SEGES そだてる緑部門で「緑の殿堂」認定を更新

サンデン株式会社の事業所「サンデンフォレスト」(群馬県前橋市)は、公益財団法人都市緑化機構が運営する緑の認定制度 SEGES(シージェス)＝社会・環境貢献緑地評価システム＝の「そだてる緑」部門の最高位である「緑の殿堂」の認定を更新しました。

当社は2020年度に「緑の殿堂」の認定を受けており、今回、自然環境面積の維持、学術的価値の高い指標種調査、生態系保全の先駆的な取り組みなどが再評価されました。これにより、企業が所有する緑地として質・量ともに卓越した成果を継続的に達成していることが認められました。

この認定更新は、当社が環境保護とサステナビリティに対する強いコミットメントを示し持続可能な未来を目指す企業としての責任を果たすための重要なステップとなります。

サンデンフォレストは、地域社会と協力しながら、自然環境の保全と生態系の維持に貢献し続け、持続可能な社会の実現に向けて努力していきます。



● SEGES について

本 SEGES は、緑を守り育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業等の緑地を対象に、優れた取り組みを客観的に評価・認定する制度です。三つの部門があり、「そだてる緑」部門は民間の事業者が所有する緑地(300平方メートル以上)の優良な保全、創出活動を認定する制度です。

「緑の殿堂」は、SEGES の5段階評価の中で最高ランクに位置し、長年にわたりその評価を維持することが求められる厳格な認定ラベルです。

「緑の殿堂」認定と更新のイメージ



● 主な講評内容



サポーターズクラブにて、オオムラサキの幼虫の保護柵を



竹林整備イベントたけのこクラブにて

- 20 年以上におよぶ生物多様性の向上、自然学習の推進、行政や地元企業、教育機関等との連携・協働が大きな成果を生み、山麓に立地するタイプの工場緑地の一つのモデルになっている。
- サポーターズクラブの設置により緑地の維持等の体制とともに、類似の活動団体との連携体制を構築していることが評価できる。
- 森と人をつなぐ拠点化するというビジョンを実現し続けるために、生物モニタリングや、環境教育の場の提供に長年にわたり取り組んでいる。

● サンデンフォレストとは

当社は 2002 年、「環境と産業の矛盾なき共存」をコンセプトに群馬県の赤城山南麓に近自然工法を用いてサンデンフォレスト開設しました。敷地の半分が工場、残りを森林や緑地とした「森の中の工場」です。

サンデンフォレストは、里山の自然再生を目指し植林や水辺環境の整備を進めています。全長 4km の散策道や環境学習施設を整備し、学校や市民団体に広く活用されています。また、1998 年からモニタリング調査を継続し、生物多様性の保全や環境教育に取り組んでいます。年間 8,000 名が訪れ、自然体験の場としても機能しています。

当社は今後も、環境保全活動を推進し、地域社会と協力しながら持続可能な未来の実現に貢献してまいります。

[参考リンク]

SEGES 公式サイト <https://seges.jp/>

サンデンフォレスト <https://www.sandenforest.com/>

本件に対するお問い合わせ

サンデン株式会社 総務本部 グローバル総務セクション 広報・IR 担当

Tel : 03-5828-5582 Mail : sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com Web : <https://www.sanden.co.jp/>